

N K O  
 小野澤繁雄  
 河村 郁子  
 布宮 慈子

ご夫君を先になくしたそのことが市川さんをしのんでひとつ  
 年賀状の数の減りしをうべなふも老いの暮らしのさまざまを知る  
 年賀状これが最後と告ぐるとき身体わづかに軽くなりたり  
 パラパラと下二桁を確かめて今年もひとつ切手シートは  
 年賀状に今年で終はるの付記増えて老後の孤独樂しむらしも  
 不登校の孫もつ人と共に観る「夢みる校長先生」たのし  
 よりそわれそうもかたちで老夫婦山の万座にきている幾組  
 1月16日 O  
 1月30日 K  
 2月3日 N  
 2月7日 O  
 2月16日 K  
 2月22日 N  
 2月27日 O

近隣にワンルームマンション三棟建つ若者たちの結婚離れ  
 ひな祭り雪国なれば谷地にてはひと月遅れに雛飾りする  
 訪れてしる名のひとつ花巻に花巻人形人にかぎらぬ  
 雛の日に手巻き雛すし食<sup>ちう</sup>べたり救急車の中義兄<sup>あに</sup>の付添ひ  
 ひな市は月遅れなり間もなくといへど山形は雪化粧の朝  
 何か輪はミーティングしているや朝日曜はおじさんらソフトボールに  
 卒寿とてうからやから十人が揃ひてくる我が家の賀なり  
 卒寿とふ河村さんに驚きて初に会ひたるころ思ひ出づ  
 男の子となりにいつか眠り込むワンマン一両そのなかのこと  
 義兄<sup>あに</sup>上の九十九歳八ヵ月年功積みきて閉づるは刹那  
 年度末過ぎて迎ふる春の日に白梅かをる今日は清明  
 どこの桜ということもなく若木二、三いつもことしも少し遅れて  
 2月29日 K  
 3月3日 N  
 3月6日 O  
 3月16日 K  
 3月21日 N  
 3月25日 O  
 3月26日 K  
 3月27日 N  
 3月31日 O  
 3月31日 O  
 4月4日 N  
 4月9日 O